

# 奔流成瀬

平成21年1月8日 第2号

成瀬ダムをストップさせる会 事務局ニュース  
発行責任者 奥州 光吉

事務局 ☎0182-42-2311(熊沢) Fax0182-45-4870

## 「成瀬ダムをストップさせる会」

### いよいよ 秋田市に拡大を！！

昨年暮れも押し迫った12月29日 代表の奥州と事務局高橋は、秋田市河辺 田口さん宅に伺い秋田市を中心とする県中央での運動の展開について相談しました。田口さんは 自分の田んぼや周囲から頼まれて、約15ヘクタールの水田を耕しながら、平和・環境・食糧を作るためにエネルギーに運動を進めている方です。秋田中央の平和運動・市民運動の現状などを教えてもらい、秋田市で「成瀬ダムをストップさせる会」の運動を今後 どのように拡大していったらよいか？相談しました。田口さんは 県南にも時々みえられ、「憲法第九条を守る」平和運動や環境問題の市民運動の催しに参加され、成瀬ダム問題への理解者のひとりです。「秋田県中央では私が中心の一人として頑張る」と力強い言葉と 励ましをいただきました。

また 事務局高橋の先輩の 秋田市牛島の高橋さん宅にもお邪魔し、成瀬ダム問題への理解と、「住民監査請求」の請求人拡大について、協力をお願いしてきました。湯沢市出身で奥さんが十文字町出身という県南にはゆかりの深い方ですが「成瀬ダムの話は初めて聞いた。とにかく 成瀬ダムを少しでも多くの県民に知らせることが大切だ。」「私もできる限り頑張る」と引き受けてくれました。年が明けてから 秋田市の団体の事務所などを回り、問題の説明と運動への協力をお願いしていく予定です。秋田市周辺の友人・知人に、電話・メールで みなさんからの訴え・アピールをお願いします。

### 農業用水は 今 本当に不足しているのか？

成瀬ダム建設の最大の根拠になっているのが、灌漑用水・水田用の農業用水です。では その現状はどうなっているのか見てみましょう。 現在 雄物川水系 平鹿平野で使われている農業用水の最大の取り入れ口は、増田町八木にある頭首口です。 大規模な改修工事が進められており、従来からすると二倍の毎秒30立方メートルの取水能力が計画されております。 この頭首口と成瀬川でひとつ上流の増田町真人の頭首口が該当する水田面積は 8,540ha ありますが、生産調整によって作付している面積は 5,618ha です。ピーク時の三分の二以下になっています。米の消費が減り続けている一方、穀物価格の高騰によって大豆や小麦、とうもろこしなどの転作作物への作付けが増え、灌漑用水を必要とする水稲作付面積が増えることは考えられません。 また 米作りも 農業経営の法人化や集落営農の推進などによって、農作業が休日に集中しなくなり、平日でも代掻き・田植え作業が行われるようになり、水も曜日には関係なくコンスタントに利用される傾向にあります。一番水が必要とされる 代掻きの時でも、18～19立方メートルの水で間に合っています。水不足で一番困っている大雄田根森地区でも、ここ数年水は潤沢に使われております。 **ダムを作って倍の取水をする という根拠は失われます。**

**総工費 1,530億円 秋田県の負担が260億円(計画)の「成瀬ダム」は必要ありません。**

今後の日程 住民監査請求(1月末頃) 審査(二か月位) 公費差し止め請求(結論が出て一か月以内)

**便利で 広く 格安な 事務所を探しています。心当たりの方 連絡をお願いします。**